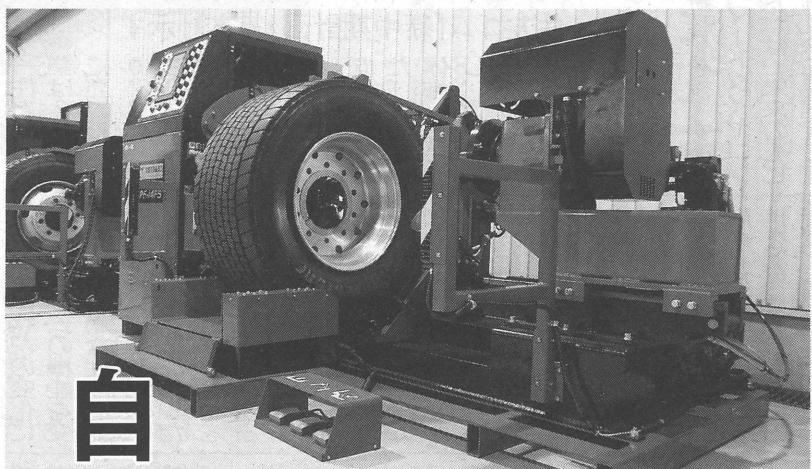


# 整備機器 新商品

小野谷機工(株)

トラック・バス用タイヤチェンジャー  
「オートプロフィットAPF-14F(S)」  
「オートプロフィットAPF-09F(S)」



自動でトラックタイヤの交換を

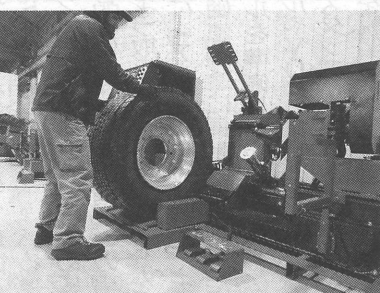
これまで様々なタイプのタイヤチェンジャーを開発し、ユーザーニーズに応じてきた小野谷機工は、このほど「史上最強の助っ人機」と位置付けるトラック・バス用のタイヤチェンジャー「オートプロフィットAPF-14F(S)」と「オートプロフィットAPF-09F(S)」の2モデルをラインアップに加えた。オペレーターが行うのは基本的にはボタン操作のみで、扁平タイヤも含めた大型タイヤを自動で交換できる注目の新モデルだ。現場で課題になっている作業負担の軽減、人手不足の解消に大きく貢献することが期待される。

小野谷機工では従来からオートチェンジャーを発売してきたが、今回発表した2つのモデルは機能や仕様を大きく進化させた。プロフィットAPF-14F(S)は、幅445mm、455mmのワイドシングルタイヤにも対応した超ワイドレンジのチェンジャー。一方、プロフィットAPF-09F(S)はコンパクトながら、許容タイヤ幅は315mmと従来より1サイズ拡大させた点特徴だ。

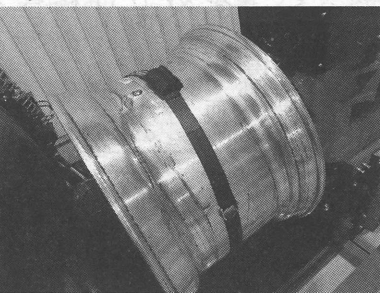
さらに、両モデルとも今後の普及が見込まれているTPMS(タイヤ空気圧監視システム)が装着されたタイヤ・ホイールにも対応。TPMSセンサーにダメージを与えないようなタイヤ脱着作業を可能にしている。同社ではオートチェンジャーの導入メリットとして、さらに作業内容や抜

き方向などを指定。液晶モニターではイラストと文字で内容を示してくれ、初めでも直感的に分かりやすい操作が可能になっている。

作業モードは3種類。ガイドプレス装置の押し込み量により60扁平クラスのタイヤも確実な脱着を行う「扁平タイヤモード」、バルブ位置でタイヤビードが確実にハンブを越えてエア充てんを可能にする「ハンブ越えモード」、タイヤリフトを上昇してホイールのみを空転させることで軽点合わせを行う「軽点合わせモード」となる。



人間が行う作業はわずかだ



TPMSセンサー装着車にも対応



操作盤で様々な設定が可能

作業負担の軽減と人手不足の解消に貢献

大型の液晶パネルに手順などが表示されるため、誰でも安心・確実な交換作業が可能になる。またマシン本体にもユーザーの声を反映した多くの工夫が施されている

液晶パネルには進行状況が表示され、「今何をしているのか」がモニターで確認できる。従来モデルにはこのタッチパネルが無かったため、何かの拍子に機械が停止しても原因は分からなかったという。一方、新型機ではどこに異常が起きているのかといった情報も表示されるため、より利便性は高まるだろう。

なお、ビードクリームを噴射するノズルは液垂れがしにくい新しい形状を採用し、確実にタイヤとホイールの隙間へクリームを噴射できるように改良している。

かかる労力は圧倒的に少なくなる」と話す。その上で、「タイヤ交換は機械に任せて自動でやりながら、作業者は別の機械で他の作業を進めるなど効率化にも寄与する」とオートチェンジャー導入のメリットを訴求する。

作業モードは3種類。ガイドプレス装置の押し込み量により60扁平クラスのタイヤも確実な脱着を行う「扁平タイヤモード」、バルブ位置でタイヤビードが確実にハンブを越えてエア充てんを可能にする「ハンブ越えモード」、タイヤリフトを上昇してホイールのみを空転させることで軽点合わせを行う「軽点合わせモード」となる。

液晶パネルには進行状況が表示され、「今何をしているのか」がモニターで確認できる。従来モデルにはこのタッチパネルが無かったため、何かの拍子に機械が停止しても原因は分からなかったという。一方、新型機ではどこに異常が起きているのかといった情報も表示されるため、より利便性は高まるだろう。

なお、ビードクリームを噴射するノズルは液垂れがしにくい新しい形状を採用し、確実にタイヤとホイールの隙間へクリームを噴射できるように改良している。

かかる労力は圧倒的に少なくなる」と話す。その上で、「タイヤ交換は機械に任せて自動でやりながら、作業者は別の機械で他の作業を進めるなど効率化にも寄与する」とオートチェンジャー導入のメリットを訴求する。

液晶パネルには進行状況が表示され、「今何をしているのか」がモニターで確認できる。従来モデルにはこのタッチパネルが無かったため、何かの拍子に機械が停止しても原因は分からなかったという。一方、新型機ではどこに異常が起きているのかといった情報も表示されるため、より利便性は高まるだろう。

なお、ビードクリームを噴射するノズルは液垂れがしにくい新しい形状を採用し、確実にタイヤとホイールの隙間へクリームを噴射できるように改良している。

かかる労力は圧倒的に少なくなる」と話す。その上で、「タイヤ交換は機械に任せて自動でやりながら、作業者は別の機械で他の作業を進めるなど効率化にも寄与する」とオートチェンジャー導入のメリットを訴求する。

かかる労力は圧倒的に少なくなる」と話す。その上で、「タイヤ交換は機械に任せて自動でやりながら、作業者は別の機械で他の作業を進めるなど効率化にも寄与する」とオートチェンジャー導入のメリットを訴求する。

経営ビジョンに「ソリューションカンパニー」を掲げ、その浸透を推し進める小野谷機工。このソリューションという言葉には様々な意味が込められており、社会に貢献し、ユーザーに感動を与えられる製品もその一つだ。人手不足、安心安全な作業、負担軽減といった現場の困り事に対し独自の技術力で貢献する。今回の新製品はまさにソリューションを具現化した好例と言える。他社も自動化製品の開発を進める中、将来はこうした機械が当たり前に使われる時代が到来するかもしれない。同社は先駆者として市場を切り拓いていく。(林 岳史)